

あいの



Vol. 42

令和2年7月発行



特集

放射線科

(診療科紹介⑪)

お知らせ

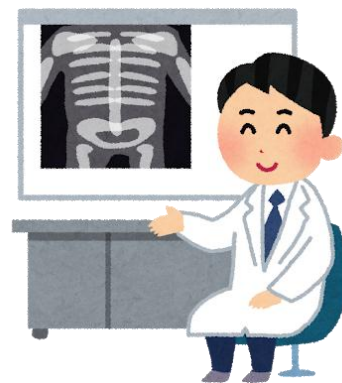
院長就任のご挨拶

オンライン面会サービスのご紹介

就任医師紹介

「放射線科」

放射線科は医師 1 名（放射線診断専門医）と診療放射線技師 10 名、事務員 1 名で診療を行っています。モダリティは一般撮影装置（2 台）、CT、MRI、X 線透視装置、マンモグラフィ、全身骨密度測定装置、歯科撮影装置、パノラマ撮影装置、外科用 X 線透視装置を有し、診療や健診・ドックを実施しています。



放射線科医は他科とは違い特定の部位や疾患を診るわけではありません。その主な役割は様々な診療科から検査依頼を受けて行う『画像診断』です。体表からの診察では、診断が困難な疾患等に対して各診療科の医師の要望を理解し、診療に必要な情報を提供します。また、偶然画像に写り込んだ別の疾患を発見することもあるため、画像診断経験に加えて幅広い知識を習得するよう努めています。

現代の医療において画像診断の役割は非常に重要になっています。一方、ニュースでは画像診断レポートの見落としによる発見の遅れなど、体制の不備から起こる事故が発生しています。検査や診断の質を向上させるだけでなく、システム面での安全を強化するため当科として、医師と診療放射線技師・事務員が協力し以下のような業務を行っています。

- ① 画像診断レポート（CT・MRI）を翌診療日までに各科医師に届ける
- ② CT 被ばく線量管理
- ③ MRI 安全管理



①に関しては 90%以上が達成できており、中でも緊急を要する所見がある場合は、確実に各科医師に伝わるよう即時連絡を行っています。放射線科医師が直接患者様にお会いする機会は限られていますが、より良い診療を支えるべく日々業務を行っています。



放射線科スタッフ



マンモグラフィは女性技師が担当しています



放射線診断専門医

三崎敏正

院長就任のご挨拶

この度、新しく院長に就任いたしました 小山 郁夫 です。医療法人恒昭会の理事長と併任いたします。

現在、藍野病院は18診療科を擁し、一般急性期から慢性期まで、分け隔てなく対応が可能です。当院は地域包括ケア病棟を持ち、また在宅療養後方支援病院として地域医療の一端を担っています。当院では高齢者医療の新たな診療科のひとつとして、もの忘れ外来に力を入れてきましたが、ある調査では大阪府内で2番目に多くの患者様を診療しているとのこと。もちろん、中身の診療も他院に負けていません。当院では一人の患者様を精神科と内科の両面から診療します。なぜなら高齢になればなるほど何らかの身体疾患を持っているからです。

藍野病院は、「はつらつ長寿」を手助けする病院です。社会の変化に対応しながら前進を続け、地域医療に貢献していきます。これからもご指導ご鞭撻、よろしくお願い致します。



院長 小山 郁夫

オンライン面会サービスのご紹介

6月3日より『オンライン面会サービス（予約制）』をスタートしました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、入院患者様への面会制限を継続するなか、入院患者様とご家族の皆様への心配や寂しさが軽減できるようにとスタートしたサービスです。

・面会日時：月～土曜日（祝日除く）

午後2時～午後4時まで。（1日12枠）

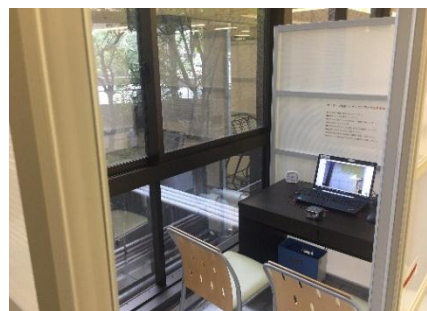
※1回10分以内の事前予約制となります。当日は予約時間の5分前までにご来院いただき、正面玄関での検温と問診にご協力ください。

なお、面会枠数に限りがありますので、患者様お一人につき1家族（2名まで）週1回に制限させていただきます。

・予約受付連絡先：藍野病院 管理部 医事課（TEL 072-627-7611）

※月～土曜日（祝日除く）

午前9時から午後5時まで。



久しぶりの面会に患者様はとても喜ばれています。感染防止の観点から画面越しの面会となりますが、患者様、ご家族の皆様にとって貴重な時間となれば幸いです。

就任医師紹介



本年4月より入職しました山根一志と申します。大阪医科大学附属病院で神経内科を専攻しておりました。この4年は大学での診療だけでなく1年の半分ほどを総合診療科として高知県での地域医療にも従事させていただきました。当院のような精神科病棟のある一般病院での勤務は初めてです。今までの経験を生かして藍野病院での医療に貢献できるように頑張りたいと考えておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

やまね かずし
山根 一志 (脳神経内科)

この度藍野病院で勤務させて頂くこととなりました、重清太郎と申します。

私は、現在まで脳神経内科を専門に研鑽を積んで参りました。脳神経内科領域は、医療がここまで発展した現在においても、難治性疾患が多くあります。患者様毎に病気との付き合い方は違います。外来・入院において、相談しやすい存在として付き合っていければ理想的だと考えています。不愛想に見えるかもしれませんが、話かけて頂ければ真摯に対応致します。当院が、現在以上に多方面に渡り成長できるよう、微力ではございますが精一杯頑張りたいと思っています。何卒よろしくお願いいたします。

しげきよ たろう
重清 太郎 (脳神経内科)



本年4月から着任させていただくことになり、非常に有難く感謝致します。私は糖尿病内分泌内科が専門ですが、藍野病院では幅広い糖尿病患者様を診察しておられ、とても貴重な経験をさせて頂けること嬉しくっております。また、山本先生、吉田先生、永田先生の下でさらに研鑽を積み、患者様の人生に寄り添える医療を行えるように成長してゆきたいと思っております。御教示・御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

きまた ひろえ
木股 宏恵 (内科)

本年4月より入職致しました小野祥子と申します。平成29年に近畿大学を卒業し、市中病院での初期研修を2年間経て、大阪医科大学附属病院皮膚科へ入局致しました。1年間の大学病院勤務の後、藍野病院へ勤務させて頂くこととなりました。まだまだ未熟でありご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますので何卒宜しくお願い申し上げます。

おの しょうこ
小野 祥子 (皮膚科)



令和2年4月より精神科(老年科)に勤務させていただけることになり、非常に感謝しております。若かりし頃よりゆかりのあるこの北摂地域で、高齢者医療を中心とした地域医療のお手伝いが出来ればと考えております。電子カルテ等、不慣れな点からご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

ひがしまえ いおり
東前 伊織 (精神科)

入院のご相談は「地域医療連携センター」まで TEL : 072-627-7611(代) FAX : 072-627-3627

発行：医療法人 恒昭会 藍野病院

ホームページ <http://www.koshokai.or.jp/aino>

メールアドレス aino-hp@koshokai.or.jp